

令和4年度社会的養護魅力発信等事業について

1. 実施事業者

特定非営利活動法人チャイボラ（代表理事：大山 遥）

（東京都豊島区駒込 7 - 3 - 2 鴻森ビル 2 階）

H P : <https://chaibora.org/>

チャイボラの高ゆみ

職員不足の現状を知り、退職を決定

代表である大山は、以前「0歳」ハローワークセッションという児童養護の会社で働いていた。ある時、資料を寄付できないかと若い施設に問い合わせをしたところ、施設内深刻な職員不足の現状を知る。今すぐ施設の職員になり、現場の力になりたいと強い決意を決定。無給で働く資格を取得すべく夜間や休日の専門学校に入学し、日本は施設でアルバイトを開始。

専門学校のクラスメイトと共に任意団体チャイボラを立ち上げる

同じ一気呵成だったクラスメイト達が施設に加わることができた。別の日には個人で行く夜間を立ち上げた。クラスメイトと共に任意団体チャイボラを設立。施設に関心のある学生と施設をつなぐべく、施設の子どもたちとイベントを開いた。

NPO法人設立・活動が広がる

任意団体として活動を開始し1年が経った2022年6月にNPO法人を設立。翌年の2023年6月に「社会的養護総合情報サイトチャボナビ」をオープン。都内を中心に多くの施設との提携も広がり、大学・専門学校への出張授業や、施設見学会のサポート、SNSを活用した情報発信も拡大していった。

確保だけでなく定着も、社会的養護施設職員専用の相談窓口を設立

コロナ禍の影響もあり退職者が増加。職員の不満・不安を解消するチャット形式の相談アプリを開発。また、施設長から定着までの増加できる様々な種類の職員向けオンラインセミナー実施。全国の職員の間が広がっている。

チャイボラのミッション

01 施設で働く人を増やす

社会的養護総合情報サイト「チャボナビ」の運営や、施設見学会のサポートなど、施設で働くことに関心のある人と施設をつなぐ活動を展開しています。また、大学などへの出張授業や、SNSを活用し、施設の存在や魅力を広く発信しています。

02 職員が働きやすい環境を追求する

社会的養護施設職員専用の相談窓口を運営しています。弁護士や福祉士、元施設職員等が窓口になり、チャットでいつでも気軽に相談できます。また、施設長から定着までが参加できる様々な種類の職員向けオンラインセミナーも実施。全国の職員の間が広がっています。

03 施設や支援者と、支援を必要としている人をつなぐ

職員の多様性や異なる業務を効率化し分業できるよう、チャイボラが開発し、様々な企業や団体、サービスを施設につなげています。

2. 事業内容

インターネット広告、SNS等を利用した学生等への広報に用いるコンテンツの作成

実施事業者が運営する社会的養護総合情報サイト「チャボナビ」で、施設のPRや見学会、就職に関する情報などを掲載。また、今後は新たに職員インタビューページ等も新設予定です。さらに、Twitter、Facebook、Instagram、YouTube、公式LINEアカウント等により、社会的養護の情報や施設の魅力なども広く発信し、正しい情報を伝達することにより施設で働くことへの意欲醸成と、求職者と施設との接点の拡大を目指します。

児童養護施設等で働くことを目指す学生等に対する各施設等での職場体験等に関する情報提供

施設に興味を持った求職者（中途含む。）が、施設のことを知り就職意欲を高めてもらおう場として、「施設見学会」の実施をサポートします。時期や対象を定め、施設の見学や職員と交流ができる施設見学会の運営を企画から募集までサポートを行います。オンラインやハイブリッド形式でも実施し、地方からも気軽に参加できるよう門戸を広げます。

仕事の悩みを抱える施設従事者に対する相談支援の場を設けるためのオンライン等でのピアサポート

2021年1月に施設職員向けの相談窓口アプリを開発しました。ここでは完全匿名・チャット形式での相談を受け付けています。元施設職員をはじめ、現役の児童養護施設長、心理士、子どもの権利擁護に精通した弁護士、社労士、税理士などの専門家と連携しながら、施設職員の悩みにこたえることで、離職率の低下を目指します。

その他

社会的養護施設職員向けオンライン研修を実施します。新任職員から施設長まで、施設・職種・勤務年数の枠を超えて施設職員同士が交流できる場にもなっています。ニーズの高い研修テーマの調査も行うことで、プログラムの充実を図ります。さらに、認知を広げるための広報を強化し研修参加者も増やしていく予定です。